

主要施策名:(2)情報資産の適正管理

事務事業本数:2

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
⑦健全な行政運営	(2)情報資産の適正管理		720-1	システム運用・管理事業	情報管理課
		(2)情報システム・通信ネットワークの整備	722-1	ネットワーク(光ファイバ・PC・PR等)管理事業	情報管理課



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① システム調整及び運用管理業務	バックアップ、プログラムセットアップ、障害切分、権限設定等	実施件数	件	627	628	693	500
② システム使用に関する指導・支援業務	電算システムの使用に関する問い合わせ対応	対象職員数	人	502	514	511	530
③ EUC支援業務	原課に必要な資料の作成	作成件数	件	67	60	65	63

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象( 市民 )	67577	67242	66850	66319			
投入コスト合計(千円)	95,144	84,999	85,801	92,914				
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	1	1				
コスト評価(対前年比)	***	111.38%	(↑)	98.49%	(↓)	91.61%	(↓)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1						
2						

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	システムに大きな問題点はなく、制度改正等への対応、不具合発生時の対処を行い、システムの安定稼働を継続する。また、保守期限が到来する令和2年度に向けて更改の方針の検討を進める。		
次年度への予算反映(連動)	<input checked="" type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) システム更新事業 <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	今後も情報資産の保護やシステム機器等の運用管理、維持管理保守を適正に行うことにより、システムの安定稼働を図りたい。	評価責任者 平川 裕一
-------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 光ファイバケーブル管理業務	電柱移設に伴う光移設作業	移設件数	件	9	27	10	10
② クライアント管理業務	業務用パソコンやプリンタの配置、設定変更、台数管理及びシステムインストール作業	修繕件数	件	10	12	18	15
③ 庁舎内LAN回線管理業務	機構改革及び定期異動に係る配置換えの対応等	***	***	***	***	***	***

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算			
	対象(職員数(正・臨時非常勤)+教職員数+児童生徒数)	6227	6208	6079	6104		
	投入コスト合計(千円)	46,431	65,640	34,863	46,036		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	7	11	6	8		
コスト評価(対前年比)	***	70.52%	(↓)	184.37%	(↑)	76.04%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1						
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由( )	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	・未使用の光ケーブルを撤去することにより、電柱共架料の削減と保守管理の適正化を図った。 ・臨時職員数の増加による業務用パソコンの配置台数増加のため、古いパソコン・プリンタの補修等を行って再利用を図るなど、台数維持と修繕費用の圧縮に努めた。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	・未使用の光ケーブルは、老朽化も進んでいるため早急に撤去を行い、無駄な電柱共架料や保守を無くす。 ・業務用パソコンは、不具合や故障なども極力情報管理課で対応できるものに対応し、修繕等の費用を抑える。 ・職員、臨時職員数の増加に伴い、端末やプリンタの台数に余裕が無くなっている。故障時の代替機として余裕を持った台数維持と管理に努める。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	職員増に伴う業務用パソコンの運用管理も、修繕等を自らで行うことにより、管理費用の経費削減に努めている。係員一人当たりの負担も増え大変ではあるが、今後も行政サービスや地域格差のない、均質な教育機会提供のための安定稼働に尽力したい。	評価責任者 平川 裕一
-------------------	--	----------------